

仮称・ふるさとジオパーク 構想要点

吉田



1. 日野川流域および弓ヶ浜半島に位置する市町村を対象

2. 日本ジオパーク委員会が定義・認定する「ジオパーク」の精神をベースに前項のエリアの各市町村が独自の制度により指定、運用管理し、エリア全体の広域的な SDGs 運動の一助とする

参考: 日本ジオパーク委員会HPより

ジオパークとは、「地球・大地(ジオ:Geo)」と「公園(パーク:Park)」とを組み合わせた言葉で、「大地の公園」を意味し、地球(ジオ)を学び、丸ごと楽しむことができる場所をいいます。

大地(ジオ)の上に広がる、動植物や生態系(エコ)の中で、私たち人(ヒト)は生活し、文化や産業などを築き、歴史を育んでいます。ジオパークでは、これらの「ジオ」「エコ」「ヒト」の3つの要素のつながりを楽しく知ることができます。

3. 島根県で指定されている「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」と連担し、出雲風土記「国引き神話」ジオパークとして、地域遺産を継承する(景観十年、風景百年、風土千年)

4. 環境や社会の公的な存在とそこに暮らす人々の私的な活動をそれぞれ「エコ」(天)「ジオ」(地)「ヒト」(人)の3つの要素を軸に暮らしの中で掘り下げ、活かし、つながりを学び、楽しむ

5. 拠点的な施設と面的なフィールドエリアで構成

日野川、斐伊川それぞれの河口域界に位置する湊山公園近辺に中央拠点をおき、日野川源流部、支流域、半島にサテライト拠点を置く

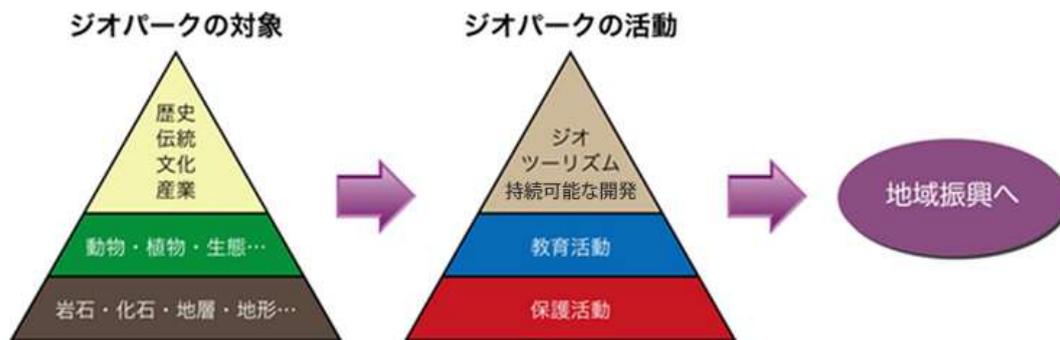
フィールドは地形地質、たたら、流域文化芸能、巨木・巨石、史跡、産業、街並み等をコアにその周辺エリア含め地権者の理解のもと面的に指定し、保全活用する。各市町村裁量

6. フィールド指定、管理にあたっては志ある住民・市民(企業、学校、各種団体含む)の協力のも

と運営されることが前提。指定対象エリアは、人々が暮らしの中で自己を掘り下げ、開花させた成果の発現の場を「フィールドミュージアム」として位置づけ、先ずはそこに暮らす人、そこを大切に思う志ある人々がいきいき輝く、場づくりとしたい。結果として、そこで生まれた何気ない輝きが、観光の礎になると信じたい。

7. 「フィールドミュージアム」は「天・地・人」の運動態として、「暮らしの中の水」・「暮らしの中の土」・「暮らしの中のみどり」を基本テーマに、「土着的地域振興」をめざす

参考: 日本ジオパーク委員会HPより



フィールドミュージアム 参考:
農民芸術概論綱要 宮沢賢治 (抜粋)

農民芸術の総合

……おお朋だちよ いっしょに正しい力を併せ われらのすべての田園と われらのすべての生活を一つの大きな第四次元の芸術に 創りあげようでないか……

まづもろともに かがやく宇宙の微塵となりて 無方の空にちらばらう
しかもわれらは各々感じ 各別各異に生きてゐる
ここは銀河の空間の太陽日本 陸中国の野原である
青い松並 萱の花 古いみちのくの断片を保て
『つめくさ灯ともす宵のひろば たがひのラルゴをうたひかはし
雲をもどよもし夜風にわすれて とりいれまちかに歳よ熟れぬ』
詞は詩であり 動作は舞踊 音は天楽 四方はかがやく風景画
われらに理解ある観衆があり われらにひとりの恋人がある
大きな人生劇場は 時間の軸を移動して 不滅の四次の芸術をなす
おお朋だちよ 君は行くべく やがてはすべて行くであらう

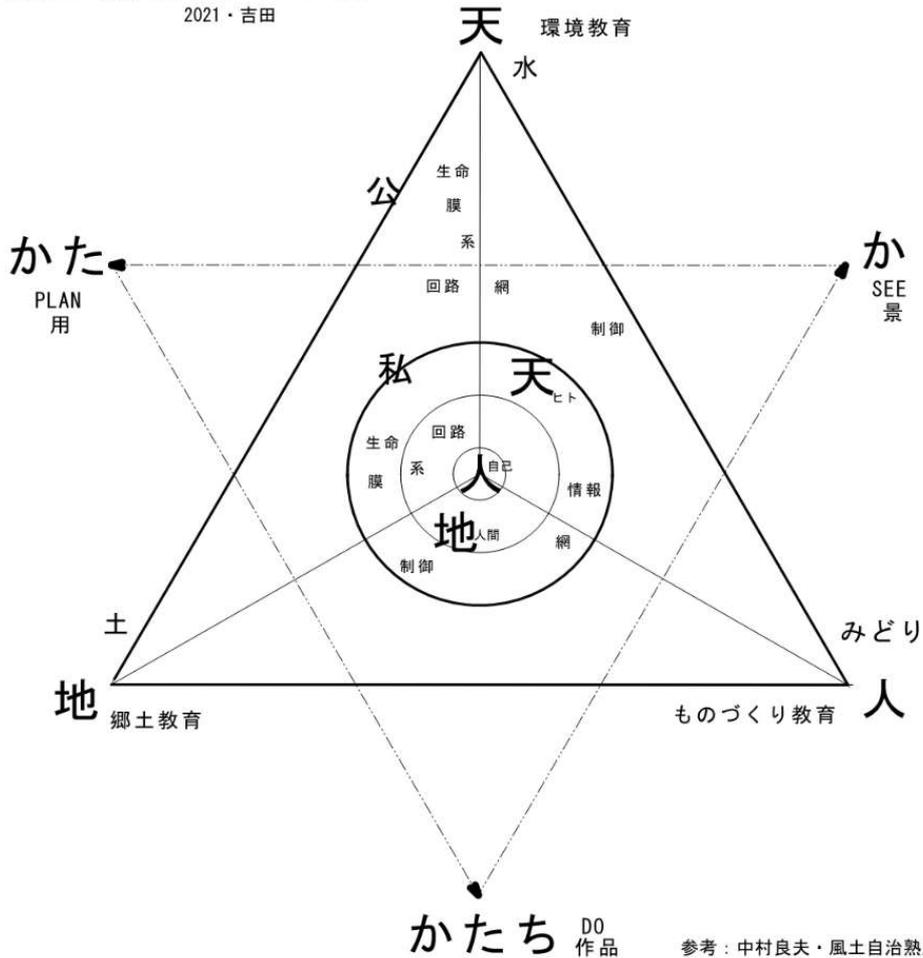
結論

……われらに要るものは 銀河を包む透明な意志 巨きな力と熱である……

われらの前途は 輝きながら峻峻である
峻峻のその度ごとに 四次芸術は 巨大と深さとを加へる
詩人は 苦痛をも享樂する
永久の未完成 これ完成である

三軸三層着想モデル

2021・吉田



実現に向けたキーワード(吉田造語、我見含む)

ゆとりの持ち寄り ⇒ 社会貢献、協同労働

志の場 ⇒ 生きがい 自己実現

プロトタイプ(prototype) ⇒ 土着的地域振興の「試作モデル」として挑戦

景観は心の現れ ⇒ 放棄地・空家 景観は公共財 かがやき

耕作 ⇒ 文化(culture)は、自分を耕す(cultivate)ことから

百姓 ⇒ 百の姓 多面的な自己 いろいろチャレンジ 多様な形態の共同体へ

コモン ⇒ 新たな公と私 市民・企業・行政の協働 社会的共通資本

第10次産業 ⇒ ネットで調べてみたら0次から9次まであった。産業以前のもの

傷ついた社会的資本や環境の持続統合的ケア活動による支援産業

協働型資本主義 ⇒ 資本主義と社会主義のいいとこどり 持続可能な経済成長

しわ寄せ幸せからの脱却 ⇒ 持続可能社会、SDGs

地域教育 ⇒ 郷土教育・環境教育・ものづくり教育

⇒ 体験 感性 よみがえり ⇒ 子育て、ひとづくり

⇒ 三世代交流 ⇒ コミュニティづくり

ゆったり暮らそ。郷生社会 ⇒ 恵拋自律、悠々慈活 生体膜的社會構造

成熟社会 土着的 ローカライゼーション

作りながら片付け、片付けながら創る ⇒ 常流一定 自然体 一所懸命